





【視覚・聴覚の認知面を補う外国語活動の実践】

	実施年度	平成27年度
授業について	教科名等	外国語活動
	単元・題材名	小文字体操（楽しく・リズムよく・繰り返す）
	授業における教師のねらい	・外国語（英語）学習の基礎・基本となるアルファベット（小文字）の読み書きを習得させる。（2カ年計画）
	授業における子どもの目標	・アルファベット小文字の読み書きを正しく覚えることができる。（2カ年計画）
子どもについて	学級・学校・学年	通常学級・聴覚支援学校・小学部5年
	対象の障がい	聴覚障がい
	授業の形態	個別指導
学习上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・形の認知に苦手さがあり、似通った文字を混合する様子が見られる。（カタカナ、漢字、ローマ字） ・両耳補聴器装用により、日常会話は概ね可能だが、聞き取りにくい子音「k・j・t」があるため「き・し・ち」等は明瞭度が低い。
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	小文字体操
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大した罫線に小文字を表記し、見ながら歌に合わせて体を動かすことで形を意識しやすくする。 ・継続して取り組むことで、視聴覚を使つての定着を図る。
授業における支援・教材の配慮	<p>・小文字の表記に応じて、下の罫線まで使用する「g」「j」などは地下、罫線の中央を使用する「a」「c」などは1階、上の罫線を使用する「b」「f」などは2階とした。</p> <p>【動き方】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>「地下」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「1階」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「2階」</p> </div> </div> <p>【実際の様子】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・年間30時間という限られた時間で外国語に親しむには、児童にとってとにかく印象に残る活動にすることが大切であると考えた。 ・歌うテンポを変えることでマンネリ化を防ぐと共に、テンポに応じた児童の様子を観察し、課題を把握して関わりに活かすようにした。 遅いテンポ→形のとらえをしっかりと意識させる。 速いテンポ→発音に着目して、よりネイティブに近い発音を意識させる。 	
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は、小文字の形を正しく覚えること自体に課題があったが、動きが定着するに従って大きさの特徴を意識できるようになった。「b」と「d」、「p」と「q」「h」と「n」はまだ曖昧であった。 ・2学期からはアルファベットを書く学習も取り入れた。書く際に自然と発音しており、形を意識して書く様子が見られた。間違いやすい上記の小文字も正しく弁別できることが増えた。 	